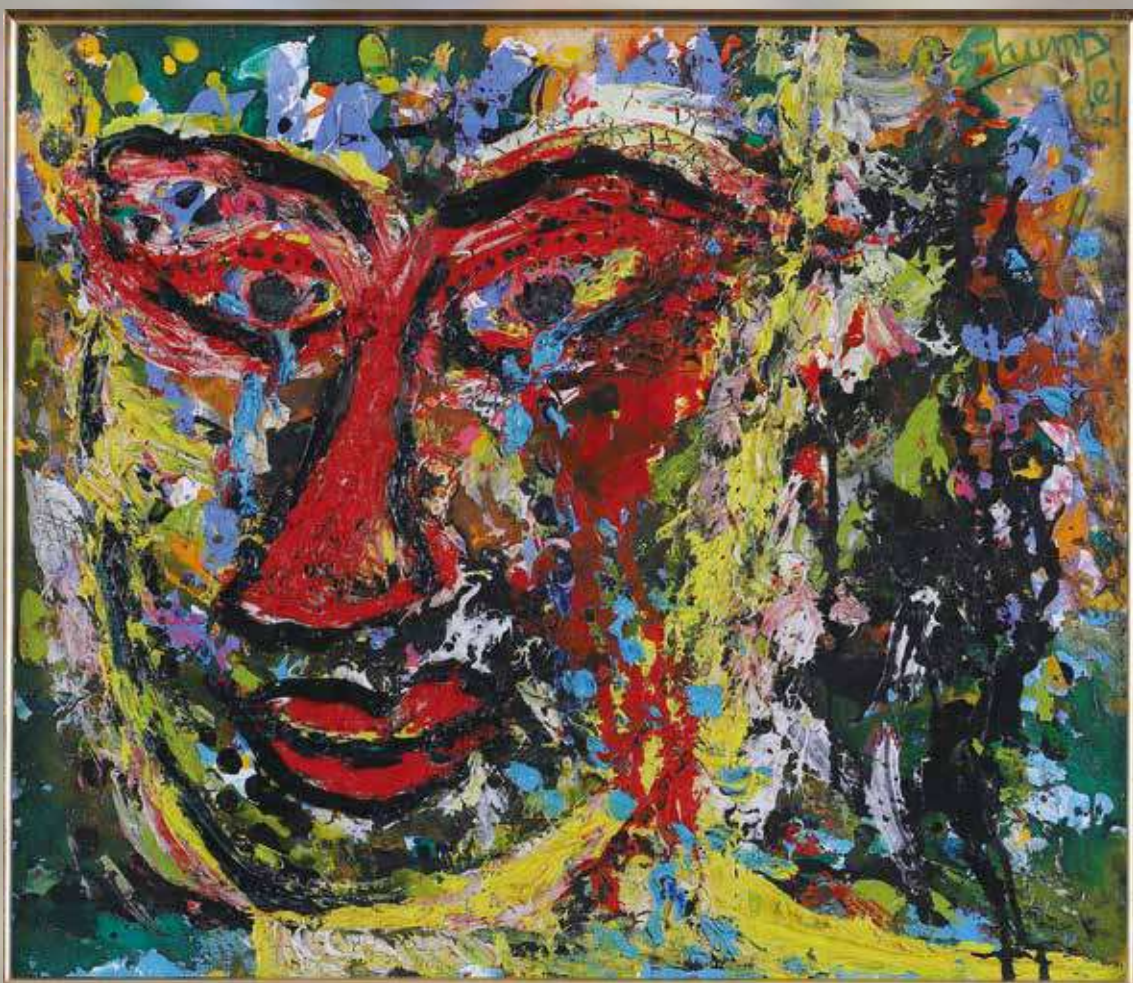


05  
2025

# Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol.23



ロンガルス絵画同好会 緒方俊平会員作品

# 広島中央 ロータリークラブ

## 活動記録:2025年05月のまとめ

### 事務局

例会日:毎週月曜 12:30~13:30  
例会場:リーガロイヤルホテル広島  
広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL:082-221-4894  
FAX:082-221-4870  
E-mail:hrcr@godorc.gr.jp  
URL:https://hrcr.gr.jp/



2025/05/12

第2057回例会

### 場所

リーガロイヤルホテル広島

### 本日のプログラム

ゲスト卓話

### 卓話者

ケニアNGO モヨ・チルドレンセンター代表  
佐藤 南帆 様

### 担当委員会

プログラム

### 黙祷

広島東南RC所属 長崎 清正会員が4月22日(火)にご逝去されましたので謹んでお知らせいたします。(89歳)

### 祝事等

- ・会員誕生日(5名) 政岡 馬野 加藤 高蓋 金光
- ・配偶者誕生日(7名) 淀江 岡田 馬野 宮下 平松 政岡 通谷

### 会長時間

○入会式(金原 幸夫君)

\*会長より四つのテスト・バッチ・花束贈呈

\*推薦者より紹介と新会員の挨拶

「全国RYLA研究会 広島会議」

本日はゲスト卓話の講師として、ケニアのNGO「モヨ・チルドレンセンター」代表、佐藤南帆様をお迎えしております。後ほどの卓話をどうぞよろしくお願いいたします。

また、本日は新入会員・金原さんのご入会式もございますので、会長時間は簡潔にお話させていただきます。

まず、5月9日に「スペースこむぎ こむぎ食堂」への冷蔵庫寄贈を行いました。この施設は広島キリスト教社会館が運営し、広島市内に住むひとり親家庭の小・中学生等を対象に、学習支援や交流活動、毎週1回(月4回程度)の「こむぎ食堂」での食事提供などを行っています。老朽化した冷蔵庫の更新が課題となっていたため、当クラブからの支援で運営

の安定化に貢献できることとなりました。贈呈式には私を含め7名の会員が参加し、スタッフの方々と温かな交流の時間を持つことができました。日本の子供達の9人に1人が相対的貧困に苦しんでいるというデータがあります。日本の未来を担う子供達に、食の提供にとどまらず、学習や体験を含む包括的な支援体制の構築が重要ではないかと考えます。今回の活動を主導してくださった奉仕プロジェクト委員会の古澤理事、人間尊重・社会奉仕委員会の児玉委員長、そしてご協力いただいた会員の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

次に、5月10日から11日にかけて、2710地区主催の「全国RYLA研究会 広島会議」が安芸グランドホテルで開催され、私と広島中央ロータリークラブから3名が参加いたしました。「RYLAに求められるもの」というテーマのもと、全国から集まったロータリアン、ローターアクター、学友会会員を含む計161名が出席し、基調講演、シンポジウム、分科会にて活発な意見交換が行われました。

今後を担う青少年のリーダーシップ育成のための効果的なプログラムとは何か、青少年保護の在り方はどうあるべきか、といった多角的なテーマについて、実際の事例を交えて深く学ぶ機会となり、RYLAについて多くのことを学ぶ有意義な時間となりました。今後の当クラブの青少年奉仕事業や広島中央ロータリークラブの活動にも活かしてまいりたいと思います。

### ゲスト卓話の風景



卓話者:佐藤 南帆 様



## 場所

リーガロイヤルホテル広島

## 本日のプログラム

クラブフォーラム「RYLAの報告」

## 卓話者

広島中央ローターアクトクラブ 副会長  
板井 貴大 様

## 担当委員会

青少年奉仕

## 祝事等

- ・連続出席表彰（2名）政岡 平瀬
- ・結婚記念日（9名）馬野 加藤 戸田 大坂 高蓋  
通谷 政岡 児玉 木内

## 会長時間

「青少年奉仕月間」

皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、誠にありがとうございます。

本日はクラブフォーラムの卓話者として、広島中央ローターアクトクラブの副会長 板井貴大様をお迎えしております。後ほど卓話を宜しくお願いします。

5月はロータリークラブの「青少年奉仕月間」と定められており、次世代を担う若者たちの成長とリーダーシップ育成を支援することを重点的に取り組む期間としています。青少年奉仕は、クラブにおける五大奉仕部門の一つであり、青少年の人格形成や社会貢献の意識を育む活動を通じて、地域社会と世界の平和に寄与することを目的としています。

この月間を通じて、各クラブではインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、青少年交換などのプログラムへの理解を深め、支援を強化する機会としています。

また、青少年奉仕は単なる支援にとどまらず、若者たちの声に耳を傾け、彼らと共に未来を創る姿勢が求められています。ロータリーが掲げる「超我の奉仕」の理念のもと、青少年が社会の一員として積極的に貢献できるよう導くことが、大人たちロータリアンの責務とされています。

RYLAにつきましては、今年は3月8日から9日の1泊2日で、深谷峡温泉「清流の郷 コテージせせら」で開催されました。当クラブからは、大坂青少年委員会副委員長が参加されました。また、先週少しお話ししました通り、今年度は5月10日から11日までの2日間、「全国RYLA研究会 広島会議」が安芸グランドホテルで開催されました。詳細は、後ほどのクラブフォーラムにおいて、板井さんからお話をしていただけるかと

思います。板井さん、どうぞよろしくお願い致します。

青少年奉仕月間は、クラブにとって若い世代との新たな接点を築く貴重な機会です。これを機に、次世代育成の重要性を再認識し、地域と世界をつなぐ懸け橋となる若者たちの支援に、より一層力を注いでいきたいものです。

以上で本日の会長時間を終わります。ありがとうございました。



連続出席表彰の会員

## ゲスト卓話の風景



卓話者:板井 貴大 様



## 場所

リーガロイヤルホテル広島

## 本日のプログラム

会員卓話

## 卓話者

藤村 欣吾 会員

## 担当委員会

プログラム

## 祝事等

(ニコニコ箱時間にSAA委員長より紹介)

## ・入会月会員 (4名)

藤村 平松 政岡 平瀬

## ・創業月会員 (6名)

加藤 山肩 戸田 橋本 馬野 宗正

## 会長時間

## 「ロータリークラブの標語」

皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、ご苦勞様です。

さて、5月19日、新入会員の上土井会員と金原会員をお招きし、ファイヤーサイド・ミーティングを開催いたしました。新入会員のお二人には、ロータリーにおける「奉仕」や「親睦」の意義等について理解を深めていただき、参加者全員が和やかで有意義な時間を共有することができました。企画・運営に尽力していただいた長場ロータリー情報委員長、そしてご参加くださった皆様に、改めて感謝申し上げます。

このファイヤーサイド・ミーティングを通じて、私はあらためてロータリーが掲げる二つの標語について思いを馳せました。ひとつは「超我の奉仕(Service Above Self)」、そしてもうひとつは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる(One Profits Most Who Serves Best)」です。

「超我の奉仕」は、1911年に正式に採択されたロータリーの基本理念であり、自己の利益や都合を超えて、他者や社会のために尽くすという精神を表しています。そして後者の標語は、奉仕を通じて得られる自己成長、信頼、絆、成果といった報いが、最終的には自分自身に返ってくるという実践的な知恵を含んでいます。

「超我の奉仕」の理念は、実は日本の歴史的な商人哲学とも通じ合うものがあります。1710年代江戸時代の京都で大丸(現在の大丸松坂屋百貨店)の基礎を築いた商人、下村彦右衛門は、「先義後利」という信条を掲げていました。「義を先にし、利を後にする」というその考えは、商売においてまず道理と倫理を重視し、利益はその結果として自然に得られ

るべきであるというものでした。

ロータリーの「超我の奉仕」と下村氏の「先義後利」は、時代や社会背景こそ異なりますが、共に他者や社会への誠実な姿勢と利他の精神を重視する点で共通しています。そしてこれは、現代社会においても、個人の生き方や組織の在り方において、変わらぬ価値を持つ普遍的な倫理観であると考えます。

以上で私の会長時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



出席報告(加藤出席委員長)

## 会員卓話の風景



卓話者:藤村 欣吾 会員

卓話内容は  
ホームページに  
掲載しております



## 2024-25年度 ファイアーサイドミーティング 報告書（ロータリー情報委員会）

日 時 2025年5月19日(月) 18:30～  
場 所 平八ダイニング  
出席者 城本会長、下原副会長、西井幹事、新宮会員、上土井会員、  
金原会員、長場ロータリー情報委員長（7名）



### 活動報告

#### (1) 会長挨拶

#### (2) レクチャー

『新入会員のためのロータリークラブの「親睦」と「奉仕」入門』に基づく説明。

ア クラブ奉仕（クラブ奉仕、例会）

イ ロータリーの誕生と二本柱

ウ ロータリーの親睦（親睦の概念、親睦と親睦活動）

エ ロータリーの奉仕（奉仕理念、職業奉仕、4つのテスト、人道的奉仕活動）

オ ロータリー財団（財団の誕生、プログラム、寄付、当クラブのこれまでの活動）

#### (3) ロータリー財団奨学生の紹介等

## 2024-25年度 献血支援活動

日 時 1) 2024年8月9日、2) 2025年3月13日、3) 2025年5月16日  
場 所 1) 2) (株)西井製作所本社工場（広島県安芸郡海田町南明神町1-17）  
3) ラボテック社ANセンター（広島市佐伯区五日市中央6-9-25）  
参加者 上記2社の会社員・従業員の皆様

### 活動報告

2024年12月9日のクラブ例会にて、2024-25年度献血支援活動参加へのお願いを行った。今回も、会員企業への出張献血で活動したいと考えた。

その結果、①西井会員の(株)西井製作所、②吉川恵会員のラボテック、④平瀬会員のグランドプリンスホテル広島から参加の回答を得た。

献血実施は、西井製作所様での1回目(2024年8月9日)は献血受付53名、献血者数27名で実施し、2回目(2025年3月13日)は、献血受付30名、献血者数27名であった。ラボテック様では2025年5月16日に実施し献血受付20名、献血者数19名であった。合計すると、参加受付者103名、うち73名の方に献血いただいた。

なお、グランドプリンスホテル広島様での実施は、会社側の都合、日赤側の配車都合から日程調整に時間がかかり、現在のところ次年度になりそうです。

最後に、献血活動への参加をいただいた会員企業の皆様には改めてお礼申し上げます。さらに、当日献血車を配車いただいた広島日赤血液センターの方々にもお礼申し上げます。



